

(第1号様式)

令和3年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 33

学校名 千葉県立船橋法典高等学校

課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組、手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	1 豊かな人生を送る生徒を育てるための「人づくり」を行う。 2 学校における働き方改革を推進するために、業務改善に取り組む。	① 学校のホームページに、生徒の学校生活の様子や、部活動等での活躍を適宜更新し、本校の教育活動への理解を深めてもらう。 ② 効率的に業務を進めるために、教材や資料の共有化等を促し、勤務時間の縮減を図る。	① 「学校評価」アンケート（保護者）のうち、学校の様子がよく伝えられていると回答する割合が75%以上か。 ② タイムレコーダの記録による勤務時間の把握と、状況の確認による。
学習指導	基礎的・基本的な知識・技能を身に付けた生徒を育てる。	① 少人数展開を活かしたきめ細かな指導によって「学びなおしができる授業」「わかる授業」を展開し、“学ぶことの楽しさ”に気付かせる。このことについての生徒による授業評価アンケートを行う。 ② 「朝自習」の充実等により自学自習の態度を育成し、基礎学力の向上につなげる。 ③ 校内研究授業や教科内研修を実施し、生徒の実態把握と授業者への指導助言を行うことで、生徒の学力向上及び教員の指導力改善を図る。	① 「学校評価」アンケート（生徒）のうち、授業内容が理解できていると回答する割合が80%以上か。 ② 「学校評価」アンケート（生徒）のうち、学力が向上しつつあると回答する割合が65%以上か。 ③ 全ての教科で研究授業を実施したか。また、教科内の研修が複数回行われたか。
生徒指導	1 規範意識を身に付け、豊かな心を持つ生徒を育てる。 2 調整・連携を重視し、組織的な指導を行う。	① 日頃の学校生活において、挨拶の励行、頭髮・服装指導、基本的な生活習慣に係る指導等を組織的に行う。 ② 生徒理解のための個人面談を実施し、情報を関係職員が共有することで、組織的で効果的な指導を行う。 ③ 学校いじめ防止基本方針に基づき、定期的にアンケートを実施するとともに、いじめは絶対に許さない姿勢を生徒に伝える。	① 頭髮・服装指導や遅刻指導等が、年に複数回、組織的かつ効果的に実施されたか。 ② 生徒個人面談や教育相談委員会が年に複数回実施され、支援や注意の必要な生徒に関する情報が、全職員に周知・共有されたか。 ③ いじめ防止に係るアンケートが年に複数回実施され、その結果を踏まえ、適切に対応できたか。
キャリア教育	計画的・継続的な進路指導で、生徒の進路希望を実現する。	学年と進路指導部が協働し、生徒一人ひとりの能力・適性、興味関心や進路希望に応じたきめ細かな進路指導とキャリア教育を、3年間を見通して、計画的・継続的に実践するとともに、卒業生等を招いた進路ガイダンスや職場体験をととして、健全な職業観・勤労観を育成する。	各学年の発達段階に応じた内容の進路ガイダンスや面談が、年に複数回、実施されたか。
特別活動	特別活動・学校行事・部活動等により、協調性・積極性を育てるとともに、成就感や達成感を高める。	① 学校行事における事前・事後の委員会指導を充実させ、当該行事の意義を理解し、自ら積極的に関わろうとする態度を育成する。 ② 生徒に自主的活動の機会を提供する部活動の加入率及び定着率を向上させる。	① 開催される学校行事に係る委員会活動が、適切に実施されたか。 ② 部活動の加入率が、向上したか。